

吾妻山 噴火警戒レベル表 (案)

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び 登山者・入山者等 への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	・噴火に伴う融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している 【過去事例】 有史以降の事例なし
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される (可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。 要配慮者の避難等が必要。	・噴火に伴う融雪型火山泥流が発生し、噴火がさらに継続すると居住地域まで到達すると予想される 【過去事例】 有史以降の事例なし
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。 状況に応じて要配慮者の避難準備等が必要。 住民は通常の生活。	・小～中規模噴火が発生して、火口から概ね 4 km 以内に噴石飛散 【過去事例】 1893 年の噴火：噴石が火口から約 1.5km まで飛散 ・地震多発や顕著な地殻変動等により、小～中規模噴火の発生が予想される 【過去事例】 観測事例なし
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ) 噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。 住民は通常の生活。	・小規模噴火が発生し、 <u>火口から概ね 1.5km 以内に噴石飛散</u> 【過去事例】 1977 年の噴火：火口周辺に降灰 1952 年の噴火：噴石が火口から約 0.2km まで飛散 <u>1950 年の噴火：噴石が火口から約 1.2km まで飛散</u> ・地震活動や噴気活動の活発化等により、小規模噴火の発生が予想される 【過去事例】 <u>2014～2016 年の活動：噴気、熱、地震活動等の活発化</u> <u>2008～2011 年の活動：噴気、熱、地震活動等の活発化</u> 1966 年の活動：有感地震を含む地震活動の活発化
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる (この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。	・状況により火口内に影響する程度の噴出の可能性あり

注 1) ここでいう噴石とは、主として風の影響を受けずに飛散する大きさのものとする。

注 2) レベル 2、3 の規制には、一部道路の規制を含む。

注 3) 火口とは、大穴火口、旧火口をいう。

注 4) ここでいう中規模噴火とは、噴石が概ね 2～4 km の範囲に飛散する噴火とする。